



ボランティアスタッフの今井さんと子どもたち！（カンボジア孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さまの御支援サポートを心から感謝致します。

九月中旬に、当孤児院副理事長の木原を含む数名の方々が、カンボジア孤児院へ行きました。子供たちは皆元気がかつ大きくなり、やはり現孤児院では手狭感は否めないようです。しかし、いきなり大きな建物を購入、もしくは建設するにしても、その費用とともに、その維持費も大きなものがありますので、いずれはそうなることを大前提に、まず男の子たちだけでも別宅へ移動しては、等の計画を思案しています。現在、カンボジアでも、その近代化に伴い、色々な物資が高くなっています。別宅に移動すれば、少し余裕は生まれますが、費用は増します。それ故、皆さまの御支援をお願いするばかりであります。何卒御支援をよろしくお願い致します。フィリピンや、ザンビアの孤児院の子供たちは皆元気のようにです。しかし、例外なく、子供たちの成長とともに、必要は大きくなってきています。カンボジア孤児院を含めてですが、もう少し経費を増額してもらえないか、しばしば事務局に連絡があります。重ね重ねで恐縮ですが、皆さまの御支援、サポート、どうかよろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からの多くのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。9月に入って、みんなでプールに行ってきた。遊べるプールが市内に数ヶ所ありますが、いずれも有料なので1年に1回くらいしか行けないところ、プールの為にとご支援を頂き、ほんとうに感謝致します。食事が出来るスペースもあることから、今回は昼食持参で行き、いつもよりも時間を取ってたっぷり遊んだり泳いだりして、楽しい1日を過ごす事が出来ました。また、今回初めて体の不自由なスレイリヤプも一緒に行って、泳がなかったのですが、帰って来た時の表情がとても嬉しそうで、その後も体調を崩すことなく過ごせました。10月の新学期の為に、教科書やノート、靴、制服などの準備が必要ですが、皆様のご支援の中で、また1年新しい学年で子ども達が学べます事を心より感謝申し上げます。



プールに到着した子どもたち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

礎の石フィリピン孤児院への皆様のご支援を心から感謝致します。

8月31日、マグニチュード7.7の地震がフィリピンを襲いました。その時間、私たちは早めに休むために既にベッドに入っていました。孤児院の子どもたちもスタッフも誰も怪我することなく守られたことを感謝しています。東京の事務局からも心配して電話がありましたが、全員の無事を伝えることが出来ました。学校では、今月はフィリピン語を大切にしようという行事“ブワングウィカ”があり、フィリピン語でのスピーチコンテストが行われます。スモーキーマウンテンで礎の石孤児院の支援を受けて学校へ行っている男の子が、交通事故に合い病院へ運ばれました。ブレーキが故障したダンプカーが、ゴミ拾いをしていた人たちの中に突っ込んだのです。市が病院の治療費と薬代を負担しましたが、問題はそれだけでは終わりませんでした。彼のお父さんがこの事故によって働けなくなってしまったのです。しかし彼は学校に行き続けながら、ゴミ拾いをしてそれを売り、何とかその日その日を暮らせるように家族を支えています。皆様のご協力、サポートを心から感謝いたします。皆様のご支援によって、さらに多くの助けを必要としている子どもに手を差し伸べることが出来ます。皆様の上に祝福がありますように。



スモーキーマウンテンの子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。
9月に入り、9年生（日本の中学3年）であるフィデリスとテリースの机に向かう時間が増えてきました。日本でいう“受験”が11月12日に待ち受けているのです。ザンビアでは初等教育から進級ごとに試験があり、合格に達しないと、留年となり、あくまでも学力に応じた教育内容が与えられます。フィデリスもテリースも、持ち前の粘り強さで、今まで難なくクリアしてきましたが、今回の試験は真剣味が違います。もともと、（経済の問題から）1学期遅れての9年生進級でしたから、その遅れを取り戻すのに必死です。塾に通わせることも視野に入れていますが。それにしても、悩みは教材の少なさ。もともと本などは高価（日本と同じ価格）で、ザンビア人の多くは、本を読む習慣なく育つので、圧倒的に知識が不足しているのです。辞書、百科事典、専門書（電気工学＝テリース、法律＝フィデリス）、伝記などの英語本を求めています。どうかご支援をお願い致します。



受験生のフェデリス。
（ルサカ孤児院）

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様のご協力とご支援をいつもありがとうございます。
7月10日からの一時的帰国の期間が終わり、9月11日に無事にブラジルに戻りました。戻った時はブラジルは乾期の真っ最中で、カラッカラでしたが、やっと先週大量の雨が降ってくれ、空気も潤ってきています。日本での滞在期間中には、たくさんの方にいろいろお世話になりました。様々な検診も一通り受けることができました。念願のiPhoneと新しいPCも購入することができ、今やっとiTunesなどを習得しているところです。ブラジルは盗難が非常に多いのですが、使わないわけにはいかないので、せっかく与えられた大事な物が盗られないようにとただ祈るばかりです。さらに礎の石孤児院の目的のために効果的な働きができますよう、皆様のさらなるご支援をよろしくお願い致します。



一時帰国時の松本弘子スタッフ。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>